

6*7月 イベント情報

クイズラリーも
実施中！
クイズに答えて
景品をゲット！

6月16日(日) 10時~13時
「第1回 油山自然観察入門」
森を散策して、森の案内人のボランティアを募集！
対象：一般 定員：なし
申込：往復ハガキ 6/6(木) 必着
参加費：100円/人

7月20日(土) 19時~21時
「油山の森 ナイトウォーク」
夜の森を散策しながら、生きものを観察します。
対象：一般 定員：50人
申込：往復ハガキ 7/10(水) 必着
参加費：100円/人

7月21日(日) 10時~13時
「夏の油山 自然かんさつハイキング」
森の涼しさを感じながら夏の生きものを観察します。
対象：一般来園者 定員：なし
申込：不要 参加費：100円/人
受付：9時半から自然観察センターにて

7月21日(日) 9時半~13時
「油山十六景めぐり~白波の滝コース~」
油山の史跡・景勝地の一部を取り入れたハイキング
対象：一般 定員：200名
申込：往復ハガキ 7/15(月) 必着
参加費：100円/人

7月27日(土) 10時~13時
「油山の森 夏のキノコ観察会」
森の中のキノコを探しながら散策します。
対象：一般 定員：30名
申込：往復ハガキ 7/17(木) 必着
参加費：100円/人

7月28日(日) 10時~13時
「第1回 油山 沢の生きものウォッチング」
溪流に棲む生きものを探してよ~く観察しよう！
対象：一般 定員：30名
申込：往復ハガキ 7/18(木) 必着
参加費：100円/人

イベント報告

4*5月
thanks!

4月21日(日) 春の油山 自然かんさつハイキング
この日だけ突然気温が下がり参加者は23名と、春にしては少なめの人数でしたが、そのぶん濃密な観察会となりました。見どころが各所に点在する春の森をお子さんも含め、みなさん頑張って歩いてくれました。

5月12日(日) 油山十六景めぐり~山笠岩コース~
恒例の春の油山十六景めぐり・山笠岩コースを5月12日(日)に開催しました。今回、参加者は42名で、近年の傾向ですが、女性のやや高齢の参加者も多いようです。鯉のぼりに出迎えを受け、天気にも恵まれ、新緑の中での散策を楽しむことが出来ました。
次回の十六景めぐりは、7月21日(日)に白波の滝コースを開催します。是非のお越しを！

5月12日(日) バードウィーク 野鳥と自然観察会
5月は春の渡りの季節。油山を繁殖地として夏の間留まる野鳥もいれば、もっと北の地を目指し油山は通過するだけの野鳥もいます。そんな「期間限定」の野鳥を、2時間の散策で3種も観察できました！スタートすると…いきなりハチクマに遭遇！悠々と上空を旋回し、東の方へ流れていきました。展望台付近ではエソビタキが虫をフライングキャッチ！虫を捕っては同じ枝に返ってくるので、ゆっくり観察することができました。最後はセンター前でコサメビタキがやはり虫捕りの真最中。オオルリやキビタキが美しくさえずる中、期間限定の野鳥が出現するなど、サービス満点の油山でした！

第42回スケッチ大会の表彰式が行われました
第42回スケッチ大会は、4月1日から5月6日までの期間、油山市民の森及びもーもーらんど油山牧場にて開催し、応募総数は246点でした。審査会により、総数20名の表彰者が決まり、5月26日(日)に表彰式を開催しました。



- 表彰者**
- 福岡市長賞(3名)
 - 乾智美(柏原中1年)
 - 権藤美咲(柏原小6年)
 - 杉七奈美(西花畑小6年)
 - 福岡市教育委員会賞
 - 家永和始(大池小3年)
 - 久保絢菜(東花畑小5年)
 - 福岡市緑のまちづくり協会理事長賞
 - 明石美央(笹丘カトリック幼稚園)
 - 西日本新聞社賞
 - 鎌田拳(照葉小中学校3年)
 - 金賞
 - 増田遥(福岡雙葉小6年)
 - 銀賞
 - 中島くるみ(青葉小6年)
 - 銅賞
 - 家永采奈(野間中2年) 田辺夢莉子(西花畑小6年)
 - 入賞(10名)
 - 山城朱璃(長尾小4年) 中島瞳(鶴田小6年)
 - 中島凌(三宅小3年) 石橋巧太郎(西高宮小3年)
 - 松下菜南(原北小3年) 増田涼(福岡雙葉小3年)
 - 鹿毛夏葉(石丸小1年) 中山莉子(南片江小1年)
 - 春日菜々子(玉川小1年)

その他のイベントの様子



あぶらやまクイズ

次の中で実際にはない植物はどれ？

- 【1】チチコグサ
- 【2】ハハコグサ
- 【3】ジジコグサ

前号の答え
ハルゼミ

☆お問合せ☆
油山自然観察センター
TEL/092-871-2112
FAX/092-801-8661
Mail/blog-info@shimi-mori.com
ブログ/あぶらやま自然情報
9:00~16:30 ※月曜休館

GWあたりから鳴き始める。あれ？こんな時期にセミ？と思ったらハルゼミ！アカマツ林の減少とともに個体数も生息地も減少している。